

2025年12月12日

各 位

株式会社八十二銀行

CDP2025（気候変動）において最高評価「Aリスト」に選定

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、環境情報開示における国際的な非営利団体である CDP による 2025 年の気候変動調査結果において、最高評価となる「A リスト」に選定されました。「A リスト」への選定は 3 年連続であり、国内銀行界初となります。

以下に概要をお知らせいたします。

1. CDP の気候変動調査について

CDP は、環境への取組みを投資判断の基準とする投資家により設立された世界有数の ESG 評価機関です。毎年、世界主要企業に環境対策に関する取組みや情報開示等について質問状を送付し、その回答に基づいて評価しています。

2. CDP2025 における当行の評価について

当行は、CDP2023 において国内銀行界初となる「A リスト」に選定され、今回で 3 回目となります。「A リスト」は、全 9 ランクの最高評価であり、気候変動に取り組む企業として世界的に認められる水準です。本評価につきましては、お客さまや地域社会の皆さまと協働した温室効果ガス排出量削減や再生可能エネルギー普及などの気候変動への取組みが評価されたものと考えています。

3. 今後の取組みについて

当行は、2026 年 1 月 1 日に予定している株式会社長野銀行との合併を見据え、2025 年 11 月に合併後の新銀行である株式会社八十二長野銀行を中核とする「八十二グループ マテリアリティ」を公表しました。グループ マテリアリティの一つである「気候変動対策と環境保全」への対応として、地域の脱炭素化をはじめとした環境問題の解決に取り組みます。今後もお客さまや地域社会の皆さまとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。



以 上